

**平成 21 年度・平成 22 年度
～ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業実施団体
好事例集～
【①高崎卸商社街協同組合（卸売業）】**

○モデル事業導入にあたって

組合では、これまで組合員各社の営業マンの中核人材の育成支援が大きな目標でもありました。このため今回のテーマは、これに合致した内容でもあり、且つ当組合併設の認定訓練校（高崎問屋街職業訓練会）における訓練実施により、ジョブ・カード制度普及のためのモデル事業（「活用モデル構築事業」「訓練実施事業」）の導入について、担当委員会を中心に積極的に進めることができました。

初年度の「活用モデル構築事業」においては、組合員企業が導入する上で、卸売業界に合ったカリキュラム内容、評価内容はもちろんのこと、指導援助機能や訓練実施企業のスケールメリットが享受できるような仕組みを構築することが不可欠であるという点をふまえ、検討を進めました。もって全国卸商業団地（協）連合会を通じ、全国の事業主団体等にその普及を図ることも事業に取り組んだ目的のひとつでもありました。

2年度目においては、初年度に構築したモデルカリキュラム、能力評価シート等を利用し、「実践型人材養成システム」等に各企業が取り組み、アドバイザー等の指導によって、モデル企業、訓練生との間でヒアリング等を通じ、それぞれの検証・改善について、一定の成果をあげることができました。

具体的に取り組んだ事業内容は、下記のとおりです。

《初年度》

- ①傘下企業に対する人材確保・育成ニーズ調査
- ②訓練実施に関心のある企業向け説明会の開催
- ③訓練実施予定企業共通のモデルカリキュラム及び能力評価マニュアルの作成
- ④訓練担当者の育成
- ⑤訓練希望者と訓練実施予定企業の合同説明会・面接会の開催

《2年度》

- ①訓練実施状況の把握、訓練実施企業に対する訓練実施に係る助言等
- ②訓練実施企業からの好事例・改善点等の収集
- ③訓練実施企業における訓練中間時点、修了時等の能力評価の実施状況把握
- ④訓練カリキュラムや能力評価マニュアル等の検証・改善
- ⑤事業報告書の作成

○企業におけるメリット

- ・新規採用者育成や非正規雇用者のキャリアアップに効果的である。
- ・社内の訓練対応について、効率的で体系的な教育訓練ができる。
- ・訓練生のみならず、会社全体、特に訓練を担当する実務担当者はじめ関係者には、自身の仕事内容及び訓練内容の見直しと、それぞれの資質向上につながる。
- ・一社では難しいカリキュラムの作成等について、組合等の支援が受けられ助成金等の申請にあたって労力の軽減もできる。
- ・キャリア形成促進助成金等が活用でき、教育訓練の経費低減が図れる。
- ・Off-JT 訓練を組合併設の高崎問屋街職業訓練会で実施できるので、参加組合員の負担が少なく済む。
- ・採用から社員の教育訓練体系等会社全体の見直しにもつながる。

○モデル事業実施（訓練実施）における好事例

- ・事業所内の訓練、座学の内容等の訓練実績をシステム化し、いつでも提供できるよう情報の一元化を図った。
- ・訓練指導者自ら経験した、先輩からの業務指導のメモをマニュアル化し、今回指導者用マニュアルとして、効果的なOJTにつながった。
- ・訓練に入る前に、修了後全社に向けて成果を発表させることを伝える。修了後に、上司、同僚等への協力感謝、訓練の効果等を披露（発表）。
- ・社内雰囲気の改善と人材育成や新入社員採用に対する文化の向上が図れた。
- ・複数の訓練生を一定期間でローテーションし、指導者もその都度交替することで、種々業務を経験できる。
- ・訓練ユニット（社内担当部門、専門部門）ごとに指導者が替わることで、多くの先輩、上司から色々な方法で業務を習得できる。疑問にも応えていただき、細かな業務もできるようになった。
- ・訓練日報の改善により、訓練の進捗、訓練内容の精査、訓練全体の管理及び時間的な数値管理、効果、情報等を一括したシステム管理の作成が可能。

○これから取り組む企業の方へ

- ・ジョブ・カード制度の導入から、教育訓練システムの構築、人材育成計画キャリア形成促進助成金等を含め事業内容の全体について、担当者の育成を行うこと。
- ・実施に当たり、教育訓練に対する理念や方針を明確にし、訓練生、実務担当者、訓練担当者、社内全体の意思統一を図っておく。訓練日、訓練時間、訓練科目等の細部も含めて周知が大事。
- ・ジョブ・カード利用の実践型人材養成システム採用の訓練計画は、年間を通した実行計画の中で進めて行くよう、その着手から実施、修了までの基

本スケジュールを立てておく。(OJT と Off-JT の効果的な組み合わせ案)

- ・ 企業、組合、訓練機関、ジョブ・カードセンター等と関係する機関と連携を密に計画を進めて行くこと。
- ・ 訓練指導者、訓練評価者の育成。